

マレーシア・サラワク州沖における新規探鉱区取得について

各位

当社(社長:平井 茂雄)が100%出資するマレーシア法人JX Nippon Oil & Gas Exploration (Offshore Malaysia) Sdn. Bhd.(社長:和佐田 演慎)は、マレーシア・サラワク州沖深海2F鉱区についてマレーシア国営石油会社ペトロナスと生産分与契約を締結し、本鉱区を取得しましたので、お知らせいたします。

2F鉱区は、マレーシア・サラワク州沖北西に位置し、水深100m~1,200m、面積約5,500km²の有望な鉱区です。JX Nippon Oil & Gas Exploration (Offshore Malaysia) Sdn. Bhd.は、本鉱区の40%の権益を保有し、オペレーターとして探鉱活動に取り組んでまいります。

本鉱区取得により、マレーシアにおいて当社は6鉱区の権益を保有することとなり、本鉱区は4つ目のオペレーター事業となります。

当社は、オペレーターとしてサラワク州沖SK10鉱区におけるガスの生産・開発事業、サラワク州陸上SK333鉱区およびサバ州沖深海R鉱区における探鉱事業を推進しており、このうちSK333鉱区では昨年掘削した試掘井Adong Kecil West-1において油ガス層を発見し有望構造の評価を進めております。この他、サラワク州沖SK8鉱区でのガス生産事業およびマレー半島沖PM308A鉱区の探鉱事業にもパートナーとして参画しております。

当社は、マレーシアをコア事業国の一つと位置付けており、今後も同国での石油・天然ガス開発事業に積極的に取り組んでまいります。

1. プロジェクト概要

- (1) 鉱区名: 2F
- (2) 契約締結日: 2013年9月19日
- (3) 鉱区面積: 約5,500km²
- (4) 権益比率: JX Nippon Oil & Gas Exploration (Offshore Malaysia) Sdn. Bhd. (40%)
PETRONAS CARIGALI SDN. BHD. (40%)
GDF Suez E&P Malaysia B.V. (20%)
- (5) オペレーター: JX Nippon Oil & Gas Exploration (Offshore Malaysia) Sdn. Bhd.

2. 作業概要

- (1) 探鉱期間: 4年間
- (2) 予定作業: 試掘作業、電磁探査作業、三次元震探データ再処理、ほか

3. JX Nippon Oil & Gas Exploration (Offshore Malaysia) Sdn. Bhd.の概要

- (1) 代表者: 和佐田 演慎
- (2) 設立: 2013年3月11日
- (3) 事業内容: マレーシアにおける石油、天然ガスその他鉱物資源の探鉱、開発、採取、加工、貯蔵および売買ならびに付帯する事業
- (4) 株主: JX日鉱日石開発株式会社(100%)

以上